

平成 21 年度・平成 22 年度
～ジョブ・カード制度普及のためのモデル事業実施団体
好事例集～
【⑤社団法人愛知県測量設計業協会（測量・設計業）】

○モデル事業導入にあたって

社団法人愛知県測量設計業協会（以下、愛測協と称する）は、愛知県に本社を置く建設関連業の団体として、愛知県知事から認可を受けている公益法人である。平成 22 年 4 月現在、108 社が加盟していて、これまで社会資本の整備ならびに地域の経済発展に大きな役割を担ってきた。しかし、近年の公共事業におけるマイナスシーリングの影響で、受注業務量が減少し、新規採用の抑制による後継者不足、それにもまして積算価格の縮減等の問題が顕在化し、昨今の経営環境は、大変厳しくなっている。

このような背景の下、愛測協では平成 18 年～20 年の 3 ヶ年にかけて（独）雇用・能力開発機構愛知センターの指導を受け、「中小企業人材確保推進事業」を実施し、定期的な講習会の開催、高等学校・工業専門学校との意見交換会の実施など人材の確保・育成及び定着に向けて様々な取り組みを実施してきた。しかし、その間でも公共事業の縮減は増大し、若年層の就職機会の減少、技術の継承に苦慮している次第である。

それらの取り組みをとおして協会員が抱える問題点として次の意見が寄せられた。

- ・社員の高齢化が進んでいるが、経営上新しい人材の採用が難しい。
※公共事業の縮減に伴い関連業界の新規採用抑制による就職難から土木系学生の製造業への流出がみられる。
- ・高校生（工業高校生）を採用しても、社内で資格を取らせるのは難しい。
※公共測量に従事するには、測量士・同士補の資格が必要である。近年（H20～H22 の 3 ヶ年）の国家試験の合格率は、測量士 8%程度、測量士補 25%程度に推移していて、独学での資格取得はかなり難しい。
- ・個々の会社での幅広い測量教育は、困難である。
※OJT が受注業務の範囲に偏ってしまう。

これらの問題点を解決し、将来的に愛測協の中核となる人材を育成し、地域産業界の発展及び雇用の安定を図ることを目的として、今回「ジョブ・カード制度普及のためのモデル事業」のうち、実践型人材養成システムを採用した。

○企業におけるメリット

- ・新規採用者の教育と実践的な教育が出来る。
- ・修了後には測量士、測量士補の資格取得が出来る。
- ・限られた期間(1年間)で修了する事。
- ・社内でのOJTも可能であり技術の取得と社内教育を同時進行出来る。
- ・教育に関する助成が得られる事。

○モデル事業実施（訓練実施）における好事例

①訓練実施企業

- ・1年間、OFF-JTとOJTを同時に行ったことにより、本人のスキルが大きく向上し満足している。
- ・入社前の委員会の助言等で様々なリスクが回避され、じっくりと幹部候補としての教育ができた。
- ・OFF-JTのおかげで測量基礎を含む会社では得られない知識が身についた。
- ・環境が異なる社員の出現により、他社員のライバル心が旺盛になった。
- ・遠方から単身就労している社員にとって、生活面においても社内のコミュニケーションの向上に役立った。
- ・本制度の適用は出身高校も熟知しており、また、委員会ははじめ周囲の期待の大きさなどから本人の集中力、愛社精神が一段と強くなったと感じる。
- ・厚生労働省への申請手続で、わからないことが多々あったが、推進員はじめ皆さんの協力で負担を軽減することができた。
- ・社長以下社員が初心に帰った気分で元気になった。

②訓練校

- ・入学当時は一般学生と同様学生気分であったが、OJTのおかげでどんどん社会人として成長した。
- ・一般学生に対して良い刺激になった。(すでに就職をしているので一般学生とは違う臨場感があった。)
- ・訓練生に年長者が多いが、技術の裏づけがあるので気後れしない。
- ・22年度のカリキュラムの見直しでは、高校在学中に測量士補の資格を取得した人が測量士コースに入学することも対象となり、幅広く対応できるようになった。

③訓練生

- ・ジョブ・カード制度を使っているという緊張感の中で訓練ができた。
- ・OJTでは会社の先輩にいろいろな実務を教えてもらい、OJTで実践したことは、理論を中心とする座学の理解に役立った。

○これから取り組む企業の方へ

愛測協では、人材確保推進事業やジョブ・カード関連事業等の人材育成に取り組んできた。ここ数年、愛測協の会員数は、入退会があるものの総体的な増減はほとんどない。しかしながら、公共事業の縮減により各会員の経営状況は極めて厳しいものとなっている今、中小測量会社の新規採用意欲はどん底の状況にある。

このような状況で、社員の高齢化が顕著であることから若い世代の適切な採用と教育は喫緊の課題となっている。

今回のカリキュラムの見直しでは、モデル事業で作成した測量士補コースに、その上位資格である測量士コースを追加した。これにより、高等学校の卒業生だけでなく、専門学校卒業生も本制度を利用した就職が可能となりその対象が広がる。愛測協におけるジョブ・カード関連事業の更なる活用を期待するものである。

今年度事業の事例は、年2回の全会員を対象とした「愛測協全員研修会」で報告し、当事業の有効性について周知を図るとともに、今後における新卒者の採用、技術面の教育、教育機関との連携をキーワードに、ジョブ・カード関連事業の活用を目指していく所存である。

また、毎年実施されている高等学校との意見交換会でも、本事業の周知を行い、ジョブ・カード関連事業について共通の認識を持ってもらうことを計画する。さらに、愛測協と同様の組織体系である全国の各県測量設計業協会、および上部団体である（社）全国測量設計業連合会にも本事例を紹介し、本制度適用の折には説明会を開催するなどの協力をしていきたい。